

ちよつとそんまて

# わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる  
古里の温もりに包まれながら  
あちらこちら、わがまち散歩



益城町の中でも惣領地区は病院やスーパー、飲食店などが集まる地域です。通りから一歩入ると、昔ながらの人々の営みや交流が大切に育まれています。今回も思わず笑顔になれる、温かい人たちに出会いました。

## 益城弁さく裂に大爆笑

早朝6時。東の空に太陽が顔を出す時刻、ネギ畑で収穫の汗を流していたのは、惣領1町内に住む上田伴治さん(63)です。「夏は朝はよかる仕事

ばせんと、すぐ暑くなるけん」と元気な笑顔を見せます。

収穫が終わる7時過ぎ、上田さんの自宅の納屋では、昨日収穫されたネギの出荷の準備が始まります。手際よく作業をしていたのは、近所に住む日吉トシ子さん(83)と北野カズコさん(85)、櫛島からやって来る秋月フミ子さん(84)です。さてここで、3人のマシンガントークをリアルに、翻訳付きで紹介いたします。

日吉トシ子さん編／「むしるもんがわっかけん、ネギもシャキシャキしとるどがいた(ネギをむしる私たちが若いから、ネギだつてシャキシヤキと生がよいでしよ)」

北野カズコさん編／「あさはよか

るがまだして、ひるからはあそんでさるくたい(朝早くから頑張つて仕事して、昼からは遊び回るわ)」

秋月フミ子さん編／「まあだ、たった84たい。もらいてのあるなら、よめろうておもいよる(まだ、たったの84歳よ。結婚相手がいたら、お嫁にいうと思うわ)」

毎日手を動かしお腹の底から笑う、それが皆さんの元気の秘訣のようです。

毎月、第2金曜日。惣領1町内公民館は「ニコニコ健康サロン」に集まる人たちでにぎわいます。

「1カ月に一度、友だちの顔は見るとが楽しみたい」と話すのは1町内に住む山本トミエさん(90)と、「婦人会のつきあいも合わせると、たういが長かね」と笑い合うのは黒川ヨシエさん(82)です。

同じ町内に嫁いで互いに支え、い



上／朝早くからネギの収穫に汗を流していた上田さん

下／とにかくおしやべりが面白い3人組。右から秋月さん、日吉さん、北野さん



下／惣領1町内に暮らす皆さん。公民館ににぎやかな声が響きわたります

